

『体験と交流を通して豊かな心を育む』

あま市立甚目寺西小学校

1 目的

校訓「明るく やりぬく たくましい子」のもと、様々な人との交流を通して互いを思いやることの大切さを実感させたいと考えました。併せて、コミュニケーション能力の向上や、人との関わり方を学ぶ場を設定しました。

2 内容

(1) 体験と交流を通して

ア にっこタイム

人間関係づくりトレーニング「にっこタイム」の活動を始めて2年目。一時期はコロナ禍で中断もありましたが、隔週での取組を続け、徐々に定着してきました。単純な話形を基に話したりうなずいたりしながら共感的に聞く経験を、対話の基礎として積みあげています。友だちについて新たな発見のできるこの時間は、教室に笑顔があふれています。



【にっこタイム】

イ にっこクリーンキャンペーン

児童が分散し、校区の清掃活動に取り組みました。今年度は保護者の方々や見守り隊の皆さんにもたくさんのご参加をいただき、子どもたちはいつも以上にはりきって通学路や公園などの草取りやごみ拾いに取り組みました。

ウ スリーハート標語配付

全校児童と保護者に呼びかけ、思いやりをテーマとした標語を募集しました。優秀作品はポスターにまとめ、高学年児童が地域の施設や店舗に配付し、掲示を呼びかけました。長く続くこの活動は、地域とのふれあいの機会にもなっています。

エ 防災教室

防災ネットの皆さんを講師に、1・3・5年生が防災について学びました。1年生は紙芝居と非常持ち出し袋、3年生は新聞紙スリッパ作りや防災カルタ、5年生は避難所運営ゲームと毛布担架など、学年に応じた活動で防災意識を高めました。



【防災教室】

オ 国際交流活動

アメリカ・マロニー小学校との交流活動は8年目となりました。児童が年賀状を送ると、お礼にと日本語と英語で歌った「お正月の歌」や新年を祝うカードの贈り物が届きました。児童は外国を身近に感じることができたようです。

カ ハッピートークトレーニング

あたたかい言葉や豊かな表情で、伝えたい気持ちをよりスムーズに相手に伝えられることを、体験的に学びました。5年生はオンラインで講師やゲストの先生、他校の児童とつながる「ハッピートーク朝礼」に参加をし、元気の出るお話を聞きました。

(2) 教師力アッププロジェクト

ア Q U 研修

例年 hyper-Q U アンケートを実施し、児童理解の一助としています。今年度も講師に杉村秀充先生をお招きし、SOSを出している児童を見つけるための分析方法を学びました。学級は、子どもたちにとって学校生活を送る上の基盤です。今後もQ U 分析等を通して、学級の実態把握と児童理解に努めていきます。



イ 性の多様性を学ぶ研修

【校内研修】

相山女学園大学の藤原直子先生をお招きし、性の多様性を学ぶ研修を実施しました。すべての子どもたちが安心・安全な学校生活を送るためには、教師がジェンダーに関わる正確な知識をもち、学校全体で差別を許さない姿勢を示していくことが大切だと考えます。

3 評価

しばらく延期や中止となっていた活動も、実施することができました。クリーンキャンペーンで共に汗を流す姿や、スリーハート標語配付で緊張しながら訪問練習をする姿を見て、地域の方とふれあう機会が児童にとって貴重な体験であることを再認識しました。学校評価の児童アンケートでは、8割以上の児童が自分自身の心の成長を実感し、周囲の人を大切にしたいと考えており、活動の効果を感じています。

4 課題

近年、自己を表現することや人間関係づくりが苦手な児童が増えていると感じます。学校を、感じ方や考え方の違う人間同士が認め合い共に生きていく場とするために、何を教師が学び実践していくかが大切です。また、日頃から互いを尊重し合い、あたたかい声かけを心がけることで、これらの体験や交流がより効果的に児童の心を育むのだと考えます。